

## 堀川の再生を考える連携PJ第4グループ 第3回会合 議事録(案)

### 1. ワークショップ概要

- 1) 日時：平成 18 年 6 月 25 日 ( 日 ) 14:00 ~ 16:20
- 2) 場所：名古屋工業大学，24号館 116 号室
- 3) 参加者

[堀川 LC]徳永東三[高年大学]佐伯正[名古屋市]加藤丈晴[名工大]和久昭正・兼松健治・吉田尚・原陽平・小池隆之・篠田藍子[名古屋市立大学]及川理、 [国土交通省]太田均 ( 11 名 )

### 2. 議題

- 1) 前回議事録の確認
- 2) 議題

水に親しみ歴史を学べるような方策を考える。そのために名古屋市が考えている事業計画について学習する。また堀川沿いで行われているイベントについて情報収集する(加藤様)

人が堀川に集まるような手だてを考える。例えば季節感を感じられるイベントとは何かを考える。 3)工大祭の報告

七里の渡し付近の葦原を利用した、住民参加型環境事業の推進策を考える。

- 3) 工大祭の出展状況と、アンケート結果報告
- 4) 自由討議
- 5) 次回予定

### 3. 議事録

#### 1) 堀川イベント情報及び事業計画について(パワーポイントによる説明(加藤様))

##### (1)水質の状況

昭和 40 年ごろが一番悪かった。現在は横ばい。

月ごとでは夏場の DO が 0 になっていることが問題。

##### (2)環境基準値の説明。

##### (3)堀川の水源・水質について

70%が下水処理水である。

晴天時の河川流量は、庄内川やその他下水処理場からの流入により流量を確保している。

雨水吐きは、堀川 49 箇所，新堀川 20 箇所 設置されている。

雨の日の合流式は、問題が多い。雨水が堀川へ流入するため、汚濁負荷の原因となっている。

- ・降雨量及び雨水吐き出し口の水質濃度のグラフを紹介
- ・下水道の普及率...名古屋市内 97.7%である。

##### (4)処理水の改善対策

名古屋市合流改善基本計画 20 年後を目標に設定。

処理水の水質改善策として、下水処理場の高度処理化検討している。

合流式下水道改善の一環として、雨水貯留池の設置を実施中。

## (5)これまでの水環境に対する主な取り組み

庄内川からの通水，下水道整備（合流式），合流式の改善，ヘドロの浚渫，地下鉄工事の湧出水の放流，木曽川導水事業，ヘドロの浚渫 今年白鳥周辺を予定，堀川上流部の枯渇対策，地下鉄工事からの湧水を放流，堀川試験通水，清流ルネッサンス

## (6)目標水質

魚の泳ぐ姿が見える川を目指す。ゴミの除去、葦の植生などを実施する。

## (7)市民活動との連携・協働及び行事

堀川総合整備の基本思想，堀川マイタウン・マイリバー整備事業，堀川一斉大掃除、堀川総合学習，なごや・堀川PJ2 1，堀川まつり，エコ・ロボット，一斉大掃除，1000人調査隊，ウォーターマジック・フェスティバル，堀川を考える小学生の集い，堀川ギャラリー，納屋橋リバーサイド・フェスティバル，水上武者パレード 20万人署名，自然観察会，CVM 調査結果：1人当たり約7000円の負担でもOK。

## 2)愛知万博継承・発展プロジェクトについて(徳永様)

- (1)趣旨：環境について考えた万博を継承しよう。
- (2)対象地域：藤前干潟、海上の森、矢田川、庄内川、堀川
- (3)「堀川を清流に！」をテーマに川の浄化作用についてまなぶ。
- (4)対象者：愛知・岐阜・三重の小学4～6年生40人+その保護者
- (5)8月5日(土)午前8時30分集合 午後4時解散，なお、集合場所は、中日新聞社前

## 3)工大祭報告

### (1)出展内容

堀川マップ，松重閘門模型，堀川ゼリー(北清水・洲崎・宮の渡しの3カ所)のサンプルと、水質検査データ，ホリゴンぬいぐるみ

- (2)入り口のいい場所で、堀川の活動を来場者に紹介することができた。
- (3)ホリゴン...幼稚園児に大人気。集まったところで「水を大切にネ」とアピール。
- (4)ブース状況：お子様 ホリゴン，大人 堀川マップの説明に注目してくれた。
- (5)堀川ゼリー

浮遊物を固めた。こぼれないので取り扱いが楽で、展示しやすかった。

意見として、

- ・なごや夏祭り(7/29・30)でも展示どうか？ 場所の関係で却下。
- ・長期保存のものにしてあらゆるところで展示したらよい。
- ・ヘドロも固めて展示できたらよい。

- (6)堀川マップ...沿川に住む方に熱く語っていただいた。

### (7)松重閘門

機能が分かりやすく好評であったが、動作・止水性に問題があり、次年度は模型を改良する必要がある。

環境学習にもいい、エコ・ロボットにもどうか、という意見が出された。

- (8)アンケート結果...子供に学ばせたいこと、堀川に期待するものとして、環境・歴史が多かった。

#### 4) 討論

加藤：この活動の短期・長期目標を設定するべきだ。

和久：毎年の活動目標を定め、2010年にはどのような成果を出すかを設定する必要がある。

徳永：**子供を対象に環境教育し、将来にわたって環境保全を図る体制をつくることが重要だ。**

加藤：名古屋市では、2010年を目標にイベントを検討中だ。良い案があれば出して欲しい。

佐伯：堀川ギャラリーを連携で展示してみたらどうか。

葦についても検討しましょう。

6/12の船上視察のときの写真を紹介する。当日は、最も潮位が低く、船上視察中に沈んでいる自転車の数を数えることができるほどだった。インターネットで写真を紹介してみたらどうだろうか。

和久：人が集まる場所を造るためには、**水質の改善**が必要だ。

水質改善策の一つとして**ヘドロの処理**が重要だ。ヘドロの浚渫方法も様々あり、全国の河川浄化の実績を参考に実施法を検討していくべきだ。

もう一つの問題は、**感潮河川**であることだ。松尾・富永先生らの指導を仰ぐ必要がある。

佐伯：単純にヘドロ処理だけではなく、**ゴミ処理**もたくさんある

徳永：浄化についてと併行して導水を考える必要がある。

葦については、規模を大きくし、たくさんの人を巻き込んで、**住民と行政の協働作業**を目指したい。

一年間の成果の形としてパンフレットを作るのか、何か具体的に動くのかを決める必要がある。

#### 5) まとめ(和久)

堀川の魅力として、堀川沿いに歩けば、環境及び歴史的学習材料は、沢山発見できる。

ゴールとしては、**環境教育用(主に子供向け)パンフレットを作成する。また、これを市民の啓発活動に活かす**のも一案である。

アクションをおこす場合には、例えば工大祭で作成した堀川マップや、堀川のゼリー、松重閘門の模型などを活用したい。

**他の班と協調**してやっていく必要がある。特に、共通課題の多い第5グループとの連携が必要だ。

良い案ができれば**2010年関連の行事(堀川開削400年)**に反映してもらえるように、名古屋市などに提案をする。

#### 6) 次回案

(1)日程:7月23日(日)or7月30日(日)13:00~15:00,

(2)場所:名工大24号館116号室

(3)議題:上記を踏まえた議論になる。討議事項を、後日、名工大の担当者(事務局)より流す。

以上